ほんきであれ

多古町立多古第一小学校
2025年7月4日第11号(114号)

ー たくましく生きる子どもの育成 ー

人権教室　開催　　思いやる心の大切さを学びました

６月２４日（火）４年生の人権教室を行いました。当日は人権擁護委員２名の方を講師としてお招きし、授業をしていただきました。授業の中では、ビデオを視聴し、登場人物のそれぞれの行動が、人権を守っている行動なのかを話し合い、どのような行動が人権を守る行動なのか、確認し合いました。子供たちは全員、講師の先生の話や説明を真剣に聞いて、自分の人権に対する考えを堂々と発表していました。

現在は、何事においても人権を重要視しなければならない時代です。毎年「人権は、すべての人が幸せに生きるための権利」であることを、小学生のうちに学ぶことで、「いじめ」や「差別」が人権を侵す行為であることを理解し、根絶することをねらいとしてこの教室を実施しています。さらに、見た目、考え方、育った環境など「違って当たり前」「一人一人違っていい」ことを認め合う姿勢や考え方を育てています。

本校では、６月１７日（火）にいじめゼロ集会を行いました。これも人権を守るための集会のひとつです。今回人権教室の授業を受けた４年生はもちろん、今まで人権教室を受けた経験のある５，６年生を中心に、学校生活の中で、相手を思いやる行動が自然に溢れ、全ての子供たちの人権が守られ、誰もが安心安全な学校生活が送れるように願っています。

食育授業スタート　食べることは健康づくりの基本です

６月２０日（金）の４年生を皮切りに、栄養教諭の萱田先生による、食に関する授業がスタートしました。その後、５、６年生でも実施しました。この食に関する授業は、最終的には全学年で行う予定です。

小学校における食育のねらいは、子供たちに「食」に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎を築くことにあります。人生１００年時代と言われますが、元気で健康で生きていくための基礎となるのは、食事です。小中学校では、栄養バランスが十分に考えられた給食が出され安心です。しかし、それは、１日３食のうちの１食のみで、残りの２食は御家庭での食事になります。この機会を生かし、御家庭での食事について、振り返ってみてはいかがでしょうか。

音楽集会「音楽のおくりもの」大合唱

６月２３日（月）、業間活動（２校時目と３校時目の間）の時間に、全校音楽集会を開催しました。今月の歌は「音楽のおくりもの」です。どの学級も練習を重ねてきたので、素晴らしい合唱が体育館中にこだま特に、高学年の歌声は圧巻でした。低中学年の子供たちへの良いお手本を示してくれました。

11月13日（木）の150周年記念式典終了後に、校内音楽会が行われます。その時に合唱や合奏を披露する予定ですので、楽しみに待っていてください。今以上に素晴らしい歌声と演奏をお聞かせできると思います。